

めいすいくんとベニちゃんの選挙クイズ解答編

第1問の答え B

山形市選挙管理委員会では、投票所までの距離が約2 km以内、投票する人が約4, 000人以下（市街地はおおむね6, 000人以下）であることが、投票しやすい投票所と考えています。このことから、山形市内には78か所に投票所を設置しています。

※令和4年7月10日の参議院議員通常選挙では、投票する人が最少の投票所は34人（関沢公民館「東沢地区」）、最多は6, 490人（滝山コミュニティセンター「滝山地区」）でした。山形市全体では204, 686人です。

第2問の答え A

平成28年6月から、選挙権は日本国民で満18歳以上の人が持つことになりました。（加えて、市長や市議会議員などの地方選挙の場合は、選挙が行われる^{くいきない}区域内に3か月以上住所のある人）これは、昭和20年に満20歳以上の男女と定められてから70年ぶりの大きな^{へんこう}変更です。山形市内では投票する人が、約4, 700人増えました。

皆さんも、満18歳から投票できるようになります。

世界各国・地域の選挙権を見てみると、16歳から選挙権を^{みと}認めている国もあります。

第3問の答え B

選挙の開票は、正確性・公平性はもちろん、結果を早くみんなに知らせることが必要となります。折りたたまれている投票用紙を開いてから仕分けするのと、最初から開いている投票用紙を仕分けするのでは、開票にかかる^{ちが}時間がかかなり違ってきます。

例えば1枚の投票用紙を開くのに1秒かかったとして、もし1人で開くとすると、投票した用紙が12万票あれば、12万秒（33時間20分）もかかることになるので、開票がしやすいプラスチックでできた投票用紙を使用しています。

第4問の答え A・C・E

山形市の開票所では、点字投票を山形^{もう}盲学校の先生から判読してもらいます。

白票（投票用紙の表裏に何も書いていない投票）については、開票を^{たんとう}担当する職員が投票用紙の両面を目で見て確認しています。ちなみに、令和4年7月の参議院議員通常選挙の場合は、949枚の白票がありました。

※第3問でも書いたとおり、正確性・公平性はもちろんのこと、結果を早くみんなに知らせることを考えて、機器を使用しています。

A



C



E



（裏面につづく）

- A 自書式投票用紙読取分類機（投票用紙に書いてある手書き文字を読取って仕分けをする機器です。）
- C 開票集計システム（候補者ごとに仕分けした票の束に付けたバーコードを読み取り、候補者ごとの得票数を集計する機器です。また、開票途中の候補者ごとの得票数の速報の書類を作成したり、開票が確定した後、開票録という書類の作成ができたりします。）
- E 投票用紙計数機（投票用紙の枚数を数える機器です。100枚を数えると自動で止まり、100票の束を早くたくさん作ることができます。）

第5問の答え すべて正解

- 1、2・・・高齢者や体に障がいを持つ人が、投票しやすいようにしているものです。
- 3・・・通常は、投票日に決められた投票所で投票することになります。

しかし、投票日に仕事や旅行、結婚式などの予定がある人は、期日前投票所で期日前投票という制度を利用して投票ができます。

※令和4年7月に行われた参議院議員通常選挙では、「山形市役所」のほかに、より多くの方に投票してもらうために、「エスパル山形」と、千歳地区にある「山形国際交流プラザ（ビッグウィング）」と南沼原地区にある「イオンモール山形南」に期日前投票所を開設しました。

- 4、5・・・都道府県選挙管理委員会が定める病院や老人ホームなどに入院・入所している人が行う不在者投票や、仕事や旅行などで選挙期間中に山形市以外に滞在する人が、現在いる場所の選挙管理委員会で行う不在者投票という制度を利用して投票ができます。
- 6・・・投票する人に選挙の投票所や日時をお知らせするために、入場券を郵送しています。また、その入場券を投票所に持ってきてもらうことにより、投票するとき本人を確認することがスムーズに行えるようになっています。
- 7・・・「自分の思っていた候補者と違う候補者の氏名を書いてしまった」「候補者の氏名を思いだせなくて、何も記入しなかった」このような投票をしてしまうことが少なくなるように、投票用紙を記入する場所に、すべての候補者の氏名などをはりだすことが投票制度で決められています。（※国の選挙では、候補者の氏名でなく政党名で投票する場合があります。そのときは、すべての候補政党名などもはりだします。）

「投票所の中でしていること」の答え

